

担当	産業振興	部・局	観光	課	観光係	作成者	○○ ○○
----	------	-----	----	---	-----	-----	-------

1 事業の内容《Plan》

事務事業の名称		観光ボランティア養成事業				法定受託事務 <input type="checkbox"/>
総合計画の位置付け	政策(部門)	0	産業・観光	根拠法令等 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
	施策(分野)	0	観光の振興			
	細施策(細目)	0 1	観光資源の発掘・魅力づくり	個別計画 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ○○観光ボランティア養成計画		
事業の概要		江田島市の観光資源を紹介し、市のイメージアップを図るため、観光ボランティアガイドを継続的に養成する。				
事業の内容		対象	観光ボランティア	に対して	手段	ボランティアの確保や各種研修を行うことで
		意図	観光ボランティアを養成し、江田島市のイメージアップにつなげる			という状態にする

2 成果と目標《Do》

		指標名	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	1	ガイド登録者数	人	目標 — 実績 50	— 60	70	80	90	100
	2	—	—	目標 — 実績 —	— —				
市民満足度調査の結果		満足度の目標(H31年度)	重要度	76.1	73.8				
		60点以上	満足度	49.2	48.9				
今年度の成果と見直し		今年度は、広報等へ観光ボランティア募集記事を掲載し、○人の応募があった。申込者を対象に、現地研修や話し方の研修を行い、ボランティアとして○人の登録を頂いた。 現在、来島者からのボランティア派遣依頼は増加傾向である。広報だけでなく、各種団体へ呼びかけ、ボランティア登録者を増やしていく必要がある。							

3 経費《Do》

			決算 ←		→ 予算				(単位：千円)
事業費の内訳	主な予算科目(千円)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	研修委託料	600	国庫支出金	50	50	100			
	消耗品	200	県支出金	100	100	200			
	使用料	100	その他( )						
	その他	50	使用料・手数料等						
		50	一般財源	600	800	900			
	合計	950	合計	750	950	1200	0	0	
事業費の対26年度差額		200千円	増減理由		話し方教室等の研修費用として○千円、ボランティア用テキストの改定版作成代として○千円増額となり、200千円の増額となった。				
事業費の対26年度比率		26.7%	(10%超の場合)						

4 事後評価《Check》

		評価項目	評価			評価項目	評価
評価	妥当性	市が関与する事が適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	総合評価	事業費の支出は適正か	—
		変化する社会情勢の中で、事業の意義は適切か	○			事業実施の効率化は可能か	◎
		市民ニーズを適切に把握しているか	△			今後民間委託又は市民協働は可能か	△
	事業の目的は達成されているか	◎	B. 事業の進め方の改善の検討が必要				
事業を継続する事で、成果の向上が期待できるか	○						
有効性	成果指標が、市民満足度向上に有効か	△					

5 今後の方向性と改善提案《Action》

事業の方向性(総合評価)	理由	観光ボランティアの登録者数の伸び悩みがあり、観光客からの需要に十分応えることができていない。定番スポットのみでなく、島内を周遊できるようなルート開発など、滞在時間を増やせるような取組の改善が必要のため。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア数の確保</li> <li>新たな江田島市の魅力スポットの発掘</li> </ul>	
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のホームページや、行事等でPRを行い、ボランティアについて理解を広げる。</li> <li>観光客へのアンケートなど、地域を活かした観光スポットの発掘を行う。</li> </ul>	
委託又は市民協働の方向性	ボランティアの募集や養成講座の開催など、市観光協会との協議により委託は可能である。また、旅行会社へツアーへの入れ込みを依頼するなど、効率化を図ることが可能である。	

### 1 事業の内容《Plan》

- ・名称は、「第2次江田島市総合計画実施計画」の「部門別計画」の【施策・事業の展開】とする（約250事業）。
- ・法定受託事務の場合は■を選ぶ。今後事業の統廃合等を検討する際、法定受託事務は除く。
- ・総合計画の位置付けを記入する。その事業について、別に定める具体的な個別計画があれば記入する。
- ・「誰」に対して、「何をする」ことにより、結果「どういう状態」にするかをはっきりとさせる。

### 2 成果と目標《Do》

- ・成果指標、満足度の目標値は「第2次江田島市総合計画基本計画分野別施策調書」を参照する。なお、この他具体的な目標があれば記入する。
- ・年次ごとの目標と実績を記入する。
- ・「重要度」「（市民）満足度」については、企画振興課が発表するものを記入する。この目標を達成するために、いかに事務・事業の精度を上げていくかが最も重要となってくる。
- ・該当年度達成した成果を記入する。また、今年度行ってきた行動に対して方法等見直す場合は記入する。

### 3 経費《Do》

- ・過去分に関しては決算数値を記入する。今後の予算については「第2次江田島市総合計画基本計画分野別調書」を参考とする。
- ・事業費の内訳については、主な支出項目（工事費、委託料、需用費など）を記入する。
- ・事業費が対前年比10%超の場合は、理由を記入する。

### 4 事後評価《Check》

- ・事業の「妥当性」「有効性」「効率性」について評価する。入力については、凡例を見ながらもつとも当てはまるものを選ぶ。
- ・総合評価は、上記評価を参考にし、以下の基準から選択する。  
A. 計画通りに事業を進めることが適当      B. 事業の進め方の改善の検討が必要  
C. 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討      D. 事業の抜本的見直しや休・廃止の検討

### 5 今後の方向性と改善提案《Action》

- ・4 総合評価で選んだ内容について、その理由を記入する。
- ・事業実施により出現した課題を整理する。
- ・課題に対する改善策を記入する。
- ・事業実施は、「市直営」か、それとも自治会や民間を含む委託が可能か記入する。部分委託等可能である場合はその旨記入する。